

平成26年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

山本 研究室	氏 名	伊 藤 一 希
卒業研究題目	要求テンプレートを用いた組込み共通問題の記述法についての研究	
<p>ソフトウェア開発工程の最初の工程である要求分析では、開発対象システムについて、顧客が考えている要求を引き出し、そのシステムの仕様を出来るだけ厳密に定義する必要がある。したがって要求分析工程で見落とし点があると、設計工程など後続する工程に大きく影響するので、後続工程から要求分析工程に戻るには時間とコストがかかってしまうという問題がある。このため、要求分析を慎重に実施する必要がある。</p> <p>したがって、従来から多くの要求分析手法が提案されている。たとえば、要求分析の手法の一つとして、要求テンプレートを用いた要求分析法がある。この手法は、自然言語による要求定義には曖昧性や検証不能性があることなどの多様な問題を回避できるように考案されたものである。しかし、この手法は、要求テンプレートの適用手順が明確でないこと、実証的に評価されていないことなど、改善すべき課題がある。</p> <p>そこで本研究では、まず実際に要求テンプレートを用いて要求分析することにより、要求テンプレート適用上の問題点として以下を明らかにした。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) テンプレートが対象とする原文種別の判断基準が曖昧である(2) テンプレートの主語が省略される(3) テンプレート構文が対応しない原文がある <p>次に、これらの問題点を改善するために、(1) 例外型、性質型、構成型など原文種別を追加するとともに、(2) 詳細な判断基準を定義することにより、要求テンプレートの改善案を提案した。</p> <p>また、177文からなる組み込みシステムの仕様書に対して、改善した要求テンプレートを適用することにより、改善手法の有効性を明らかにした。</p>		